

入居者に選ばれる、 「賃貸住宅」の実例を見に行こう。



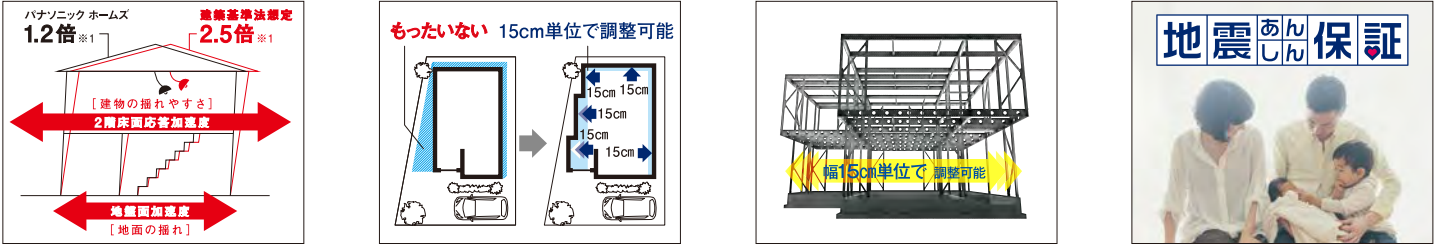
※写真や仕様はイメージです。今回の建物とは異なります。

真に地震に強い家と言えるのは、「揺れや、ゆがみの少ない家」だと考えます。

15cm単位の設計対応力で建築制限ギリギリまで^{※2}敷地を有効活用。

複雑な斜線制限に対応。敷地を可能な限り生かした住戸計画が可能です。

万一の地震の揺れによる全壊時の建て替えや、半壊時の補修をお約束。^{※3}



※1. 国立研究開発法人建築研究所監修「2015年版建築物の構造関係技術基準解説書」より。日本最大の加振装置の限界値となる「想定地震波」での実験結果。
※2. 隣地境界線と建物との距離については、別途法令上の制限に従う必要があります。
※3. 「地震あんしん保証」は、HS構法（制震鉄骨軸組構造）とF構法（大型パネル構造）が対象となります。
※保証には条件があります。詳しくはお問い合わせください。

敷地条件やニーズに幅広く対応できる、超高層ビルと同じ技術を
採用した賃貸住宅を、お近くの会場で、お確かめください。

※紙面でご紹介した内容は、制震鉄骨軸組構造<HS構法>です。



